

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川西市中央北計画	階数	地上11F
建設地	兵庫県川西市中央町574の一部他	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	606 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院, 集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 0.0	評価の実施日	2014年10月8日
敷地面積	7,308 m ²	作成者	中川 慎介
建築面積	3,955 m ²	確認日	2014年10月9日
延床面積	16,254 m ²	確認者	中條 広隆



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.2

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
外周に緑地を確保し、豊かな住空間を創造する。		1Fは店舗とすることで賑わいの演出を図り川西市の顔づくりとしてふさわしい景観形成に寄与している。
Q1 室内環境	室内環境の向上を目指しF 建材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の形状や色彩において街並みや風景にバランス良く調和させている。 また植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	住宅性能表示制度において省エネルギー対策等級4相当	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースを確保している。
Q2 サービス性能	住宅性能表示制度に劣化対策等級3など耐久性に優れた建物としている。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材種別を採用している。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される